

## 上廣・カーネギー・オックスフォード倫理会議 2017

日程：2017年5月25日（木）、26日（金）

主催：公益財団法人 上廣倫理財団

共催：カーネギー・カウンシル、ニューヨーク

オックスフォード上廣センター、オックスフォード

企画協力：京都大学 iPS 細胞研究所（CiRA）

テーマ： iPS 細胞／遺伝子研究と治療に関する倫理

### トピック

本会議では、以下に示すような iPS 細胞／遺伝子を用いた研究と治療の発展に伴う倫理的問題を検討する：ヒト臓器を持つ動物を産出することを認めるべきだろうか？その臓器を移植のために利用すべきだろうか？ヒト iPS 細胞から人工配偶子を作製することは正当化できるだろうか？その人工配偶子を生殖のために利用すべきだろうか？どのような条件下であれば、ヒト胚の遺伝子編集を正当化できるだろうか？いかに幹細胞を用いた臨床研究や治療を監視し、規制すべきだろうか？iPS 細胞を含む幹細胞に関する情報をいかに効果的に広め、議論へ一般市民を巻き込むことができるだろうか？

### 企画責任者

- 藤田みさお（京都大学大学院 iPS 細胞研究所 上廣倫理研究部門特定准教授）
- ジュリアン・サヴァレスキュ（オックスフォード大学教授、  
オックスフォード上廣応用倫理センター長）

**CARNEGIE COUNCIL**  
*The Voice for Ethics  
in International Affairs*

**上廣倫理財団**  
 Center for iPS Cell  
Research and Application  
**CiRA** Kyoto University

  
UNIVERSITY OF  
**OXFORD**

  
Oxford Uehiro  
Centre for Practical Ethics

## 第1日目（若手研究者）

09:30 開 会

高口 吾郎（上廣倫理財団 常務理事）

ジョエル・ローゼンタール（カーネギー・カウンシル 理事長）

ジュリアン・サヴァレスキュ（オックスフォード大学教授、

オックスフォード上廣応用倫理センター長）

### セッション1 **午前の部：配偶子、キメラ、および遺伝子操作**

司会：ロジャー・クリスプ

10:00 澤井努（京都大学 iPS 細胞研究所・特定研究員）

「日本におけるヒト iPS 細胞を用いた人

—動物キメラ胚研究に対する一般市民と研究者の態度」

10:30 八田太一（京都大学 iPS 細胞研究所・特定研究員）

「ヒト iPS 細胞由来の配偶子の作製および利用に対する一般市民の意識調査：中間報告」

11:00 クリストファー・ギンジェル（オックスフォード大学・博士）

「生殖細胞系列へのゲノム編集に関する単純な事例」

11:30 ジョシュア・シェファード（オックスフォード大学・博士）

「キメラと道徳的地位：選択肢の検討」

12:00 昼 食

### セッション2 **午後の部：コミュニケーションに関する問題**

司会：八田 太一

13:30 柏原英則（広島大学学長室・リサーチ・アドミニストレーター）

「細胞治療を提供する自由診療クリニックのウェブ情報」

14:00 ジョナサン・ピュー（オックスフォード大学・博士）

「実験的治療への同意」

14:30 鈴木美香（京都大学 iPS 細胞研究所・特定研究員）

「主要価値共有に根差した幹細胞研究のガバナンスモデル：潜在的ドナーへの

インタビュー調査」

15:00 休 憩

15:30 基調講演

「ヒト受精卵とキメラ：幹細胞科学、倫理、公共政策の相互作用に関する過去と展望」

ルース・フェイドン（ジョンズ・ホプキンス大学・教授）

**CARNEGIE COUNCIL**  
The Voice for Ethics  
in International Affairs

**上廣倫理財団**



Center for iPS Cell  
Research and Application  
**CiRA** Kyoto University



第2日目（シニア研究者）

セッション3 **午前の部①：概観**

司会：澤井 努

10:00 トム・ビーチャム（ジョージタウン大学・教授）

「ヒト臓器を持つヒト-非ヒトキメラを探求することの道徳的問題」

10:30 イングマー・ペルソン（オックスフォード大学／ヨーテボリ大学・教授）

「幹細胞研究の倫理における適正な焦点」

11:00 ロジャー・クリspb（オックスフォード大学・教授）

「幹細胞研究の倫理：ビーチャム教授とペルソン教授への応答」

セッション4 **午前の部②：幹細胞／遺伝子研究と治療**

司会：ジェフリー・カーン

11:15 デボラ・マッシューズ（ジョンズ・ホプキンス大学・博士）

「14日ルール：譲れない一線を動かす」

11:45 ジュリアン・サヴァレスキュ（オックスフォード大学・教授）

「多能性幹細胞由来の配偶子に関する倫理」

12:15 藤田みさお（京都大学 iPS 細胞研究所・博士）

「民間クリニックで提供される細胞治療：再生医療等安全性確保法施行前の実態とその後」

12:45 昼 食

セッション5 **午後の部：研究と社会**

司会：藤田 みさお

14:00 三成寿作（大阪大学大学院医学系研究科・博士）

「ゲノム研究における倫理的・法的・社会的課題

—日本におけるバイオバンキング、データシェアリングの動向を踏まえて—

14:30 八代嘉美（京都大学 iPS 細胞研究所・博士）

「幹細胞研究における「責任ある研究・イノベーション」を実現するために」

15:00 荒牧英治（奈良先端科学技術大学院大学・博士）

「Twitter からみた iPS 細胞研究」

15:30 ジェフリー・カーン（ジョンズ・ホプキンス大学・教授）

「ヒトゲノム編集の国際的倫理原則とガイドラインに向けて」

16:00 会議閉会の辞 ジュリアン・サヴァレスキュ（オックスフォード大学・教授）

16:10 集合写真

16:30 基調講演（財団設立 30 周年記念講演） 場所：地下 岩崎小弥太ホール

山中伸弥（京都大学 iPS 細胞研究所） テーマ：「社会における iPS 細胞研究と倫理」

**CARNEGIE COUNCIL**  
The Voice for Ethics  
in International Affairs

**上廣倫理財団**



Center for iPS Cell  
Research and Application  
**CiRA** Kyoto University

